

## 大和北道路有識者委員会 発言要旨

社団法人 奈良市観光協会

## 1. (社)奈良市観光協会の概要

## 2. 大和北道路の計画策定について

市民やいろいろな人から意見を聴いているが、計画は本来行政が先行して進めるべきである。

京奈和自動車道の計画は、行政が責任を持って早急に計画を策定し、整備に着手してほしい。

## 3. 大和北道路の必要性について

奈良は文化財を守ることは前提であるが、委員会で検討し大丈夫ということであれば、わからないことまで心配する必要はない。「埋蔵文化財に影響がでる可能性がある。」という不確実な理由で、奈良で生活する者にとって必要なものを否定することはできない。

奈良には活性化が必要。そのためにも大和北道路の計画をすすめるべき。観光業の観点からもその整備は重要である。

例えば、渋滞により、満足なサービスができず、その結果、観光客の奈良に対するイメージが悪くなっている。

## 4. 大和北道路の整備により期待される事項

観光は点ではなく面でとらえるべき。観光客の多様化するニーズに応える為には、各観光地間（奈良と明日香・橿原など）のアクセスをよくすることが重要。

大和北道路の区間が前後の区間と繋がることで、京奈和自動車道と西名阪自動車道・名阪国道が連結され、時間短縮、定時性の確保などによる新たな観光ネットワークが創出される。

京都との連携を強化することにより、奈良の観光客は増えると考えている。

## 5. 大和北道路のルート・構造などについて

ルートは、延長が短くアクセスがよい中央ルートがよい。東ルートは遠回りであるし、西ルートは住宅密集地であり整備は困難であろう。

構造は、景観を考慮すると高架構造は避け、平面もしくは地下構造とすべき。

## 6. 配慮すべき事項

景観は保全すべき。

木簡等の埋蔵文化財を守ることは大事なことだが、現時点で可能な調査・検討をしたうえで、その結果をもとに必要な対策を講じることが重要。